

報道資料

令和5年4月7日(金)

福祉医療部 医療政策局 疾病対策課 担当:岩井田・市川
 報道機関専用電話:0742-27-8722(ダイヤルイン)内線:3132、3220
 一般相談電話:0742-27-8561
 福祉医療部 医療政策局 地域医療連携課 担当:芦原・馬場
 電話:0742-27-8935(ダイヤルイン)内線:3109、3110
 総務部知事公室 防災統括室 担当:伊藤・川本
 電話:0742-27-7006(ダイヤルイン)内線:2270、2285

新型コロナウイルス感染者の状況について

奈良県において、新型コロナウイルス感染症の感染者79例が確認されました。

1)新規感染者数等の状況(午前0時時点)

	新規感染者数			累計
		うち重症	うち中等症	
人数(例)	79	0	0	346,115

年代別の総数(例)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳
発生届の対象となる方+発生届の対象とならない方(※1)	0	1	1	6	4	9	8
市販の検査キットを用いた自己検査登録者数(※2)	0	0	0	0	0	1	1
計	0	1	1	6	4	10	9

年代別の総数(例)	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	不明	計
発生届の対象となる方+発生届の対象とならない方(※1)	10	6	3	14	9	6	0	77
市販の検査キットを用いた自己検査登録者数(※2)	0	0	0	0	0	0	0	2
計	10	6	3	14	9	6	0	79

(※1)医療機関で新型コロナウイルス感染症と診断された者の総数

(※2)自己検査等で陽性となり、新型コロナ自宅療養者フォローアップセンターにおいて陽性者として登録された者の総数

	死亡者数	累計(※)
人数(例)	0	873

(※)直接の死因が新型コロナウイルス感染症と認められなかった411例を含みます

2)入院病床及び宿泊療養室等の状況(午前9時時点)

※担当:地域医療連携課

重症対応病床	病床数 (床) A	使用病床数 (床) B	対前日 (使用病床数) (床)	空き病床数 (床) A-B	占有率 (%) B/A
運用病床	27	1	±0	26	4%
確保病床	36	1	±0	35	3%

病院別内訳	確保病床数 (床)	運用病床数 (床) A	使用病床数 (床) B	対前日 (使用病床数) (床)	空き病床数 (床) A-B	占有率 (%) B/A
奈良県立医科大学 附属病院	14	6	0	±0	6	0%
奈良県総合 医療センター	6	6	0	±0	6	0%
近畿大学奈良病院	6	6	0	±0	6	0%
南奈良総合 医療センター	2	1	0	±0	1	0%
奈良県西和 医療センター	2	2	1	±0	1	50%
市立奈良病院	2	2	0	±0	2	0%
大和高田市立病院	2	2	0	±0	2	0%
(公財)天理よろづ 相談所病院	2	2	0	±0	2	0%
計	36	27	1	±0	26	4%

入院病床	病床数 (床) C	使用病床数 (床) D	対前日 (使用病床数) (床)	空き病床数 (床) C-D	占有率 (%) D/C
運用病床	316	34	+3	282	11%
確保病床	571	34	+3	537	6%

※ 重症対応病床を含む

病院別内訳	確保病床数 (床)	運用病床数 (床) C	使用病床数 (床) D	対前日 (使用病床数) (床)	空き病床数 (床) C-D	占有率 (%) D/C
奈良県立医科大学 附属病院	80	29	0	±0	29	0%
奈良県総合 医療センター	74	20	7	±0	13	35%
南奈良総合 医療センター	44	18	3	±0	15	17%
奈良県西和 医療センター	37	20	3	±0	17	15%
市立奈良病院	34	11	3	±0	8	27%
(独)国立病院機構 奈良医療センター	34	10	0	±0	10	0%
生駒市立病院	28	12	1	±0	11	8%
(社福)恩賜財団 済生会中和病院	15	15	0	±0	15	0%
(公財)天理よろづ 相談所病院	15	10	5	+2	5	50%
(独)地域医療機能推進機構 大和郡山病院	15	10	0	±0	10	0%
土庫病院	14	8	1	+1	7	13%
大和高田市立病院	12	12	1	±0	11	8%
(医)藤井会 香芝生喜病院	12	4	0	-1	4	0%
(独)国立病院機構 やまと精神医療センター	12	4	0	±0	4	0%
国保中央病院	12	6	1	+1	5	17%
万葉クリニック	10	10	0	±0	10	0%
(一財)信貴山病院 ハートランドしぎさん	9	9	0	±0	9	0%
奈良西部病院	9	9	0	±0	9	0%
(社医)高清水 高井病院	8	8	1	±0	7	13%
吉田病院	8	4	4	+1	0	100%
宇陀市立病院	8	8	0	±0	8	0%
(社福)恩賜財団 済生会御所病院	8	8	0	±0	8	0%
平成記念病院	7	7	3	±0	4	43%
(社福)恩賜財団 済生会奈良病院	7	7	0	±0	7	0%
(医)社団憲仁会 中井記念病院	7	7	0	±0	7	0%
近畿大学奈良病院	6	6	0	±0	6	0%
田北病院	5	5	0	±0	5	0%
大和橿原病院	5	5	0	±0	5	0%
(医)高清水 香芝旭ヶ丘病院	4	4	0	±0	4	0%
(医)和幸会 阪奈中央病院	4	4	1	±0	3	25%
(医)新生会 総合病院 高の原中央病院	4	4	0	±0	4	0%
平尾病院	3	3	0	±0	3	0%
(医)新仁会 奈良春日病院	3	1	0	±0	1	0%
(社医)松本快生会 西奈良中央病院	2	2	0	-1	2	0%
秋津鴻池病院	2	2	0	±0	2	0%
恵王病院	2	2	0	±0	2	0%
奈良東病院	2	2	0	±0	2	0%
西の京病院	2	2	0	±0	2	0%
(医)松下会 白庭病院	2	2	0	±0	2	0%
南和病院	2	2	0	±0	2	0%
奈良東九条病院	2	2	0	±0	2	0%
(医)岡谷会 おかたに病院	2	2	0	±0	2	0%
計	571	316	34	+3	282	11%

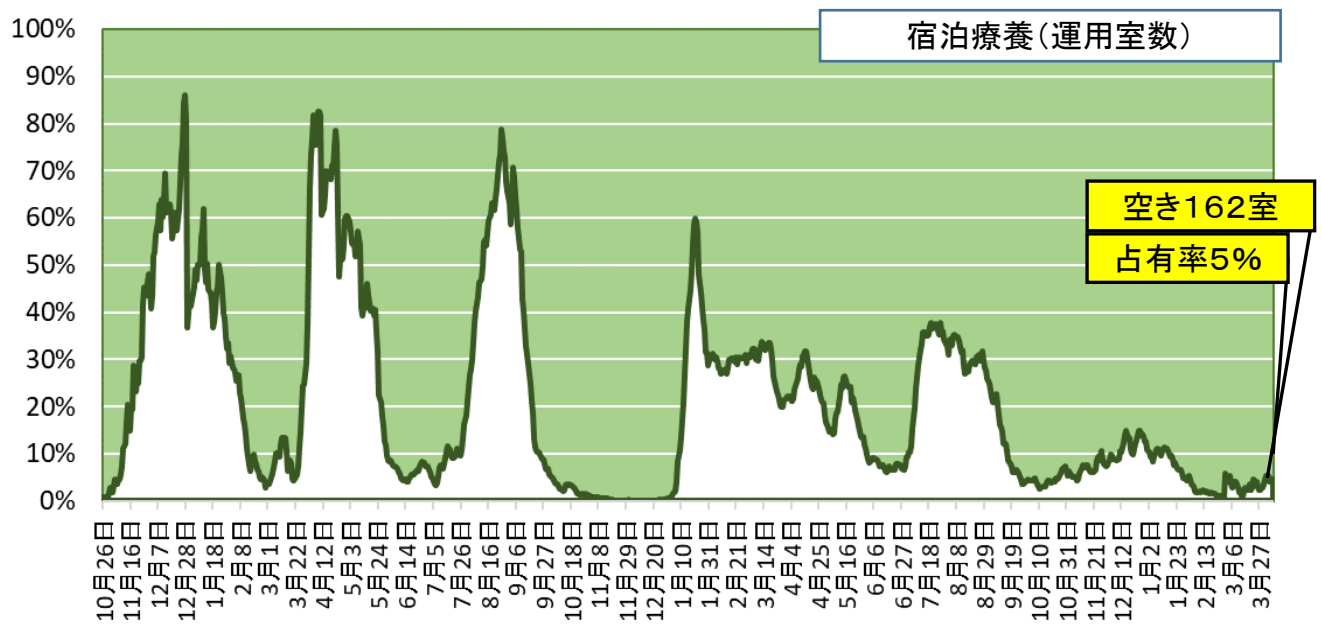
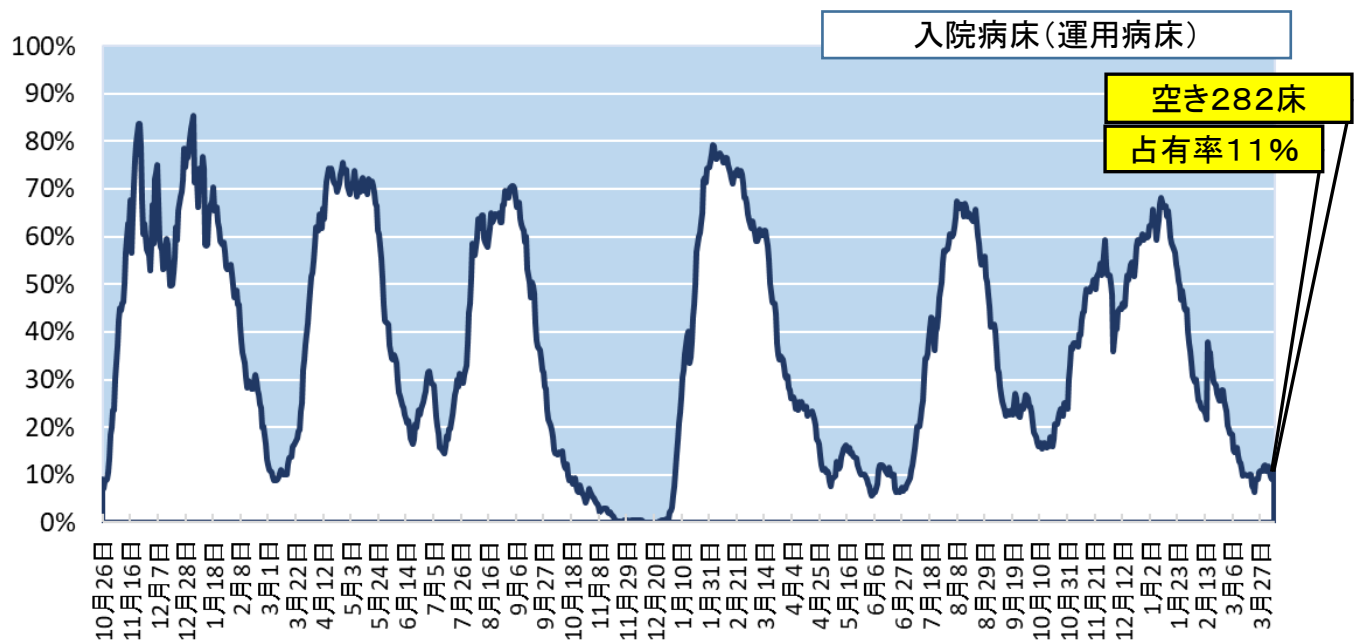
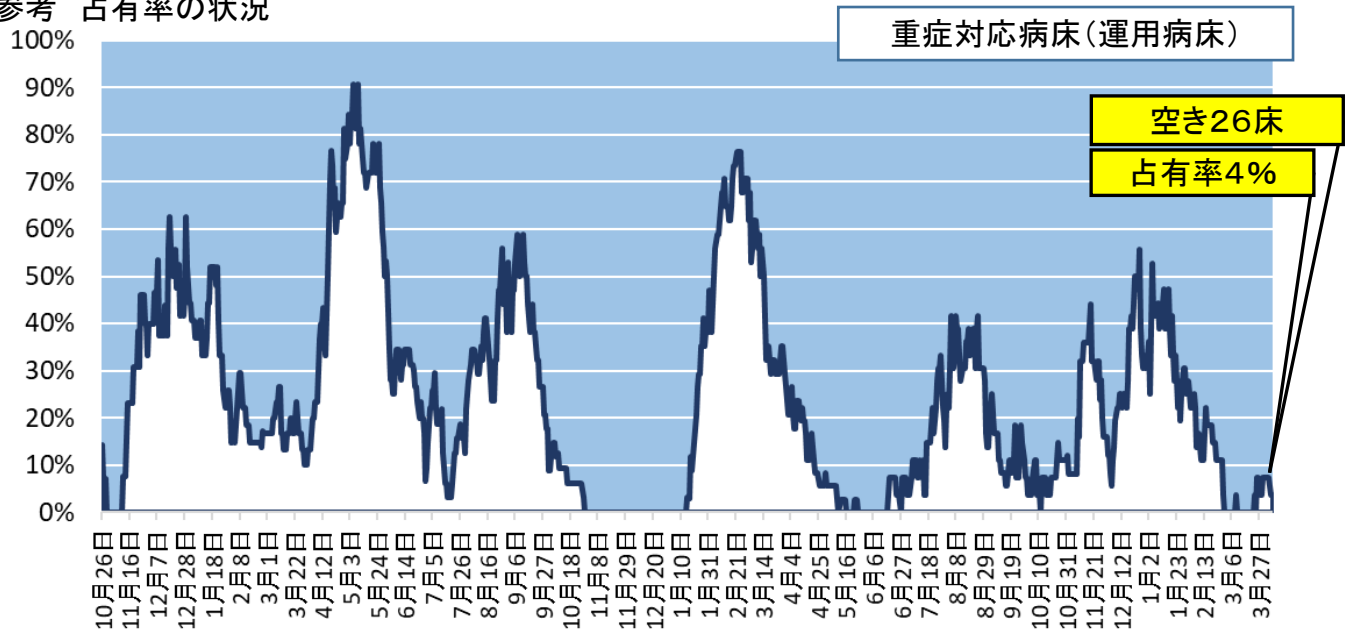
※重症対応病床を含む

宿泊療養 グランヴィリオホテル奈良 －和蔵－	室数 (室) E	入所室数 (室) F	対前日 (入所室数) (室)	空き室数 (室) E-F	占有率 (%) F/E
運用室数	170	8	±0	162	5%
確保室数	170	8	±0	162	5%

(※)宿泊療養施設には、複数名が1室に入室することがあります

社会福祉施設等 療養	療養者数 (名)	対前日 (名)
—	—	—

参考 占有率の状況



○県の対応・発熱等の相談について

- 新型コロナウイルス感染症については、県のホームページに最新情報を掲載しています。

発熱等の症状のある方は、まず、身近な医療機関に電話相談してください。

身近な医療機関がない方は、「新型コロナ・発熱患者受診相談窓口」に電話相談してください。

- 発熱等の症状がない場合でも、感染の不安のある方は、「新型コロナ・発熱患者受診相談窓口」に電話相談してください。

- 奈良県における新型コロナウイルス感染症にかかる検査対象

★ 症状の有無にかかわらず、感染リスクのある方
(下記は例示であり、必要に応じて検査対象となります。)

- ・感染判明者との接触があった方、感染リスクのある場所に滞在された方(いずれも検査前2週間以内)
- ・勤務先や通学先、自宅などに、発熱等の有症状者がおられる方
- ・医療従事者、福祉施設従事者

■新型コロナ・発熱患者受診相談窓口(旧 帰国者・接触者相談センター)

相談窓口	電話番号	FAX番号	対応時間
奈良県庁	0742-27-1132	0742-27-8565	平日・土日祝 24時間

－ 不当な差別や偏見をなくしましょう －

新型コロナウイルスに感染された方々、濃厚接触者、医療従事者等やその家族、その属する施設・機関に対する不当な差別、偏見、いじめ、SNSでの誹謗中傷など、人権を侵害する事象が見受けられます。

いかなる場合でも、不当な差別、偏見、いじめ等は決して許されるものではありません。

県民のみなさまには、新型コロナウイルス感染症に関連する憶測、デマ、不確かな情報に惑わされず、人権侵害につながることをないよう、行政機関の提供する正確な情報に基づき、冷静に行動していただきますようお願いいたします。

県民のみなさまへ

新型コロナウイルスとは、今後も付き合い続けなければなりません。
奈良県では、感染防止と社会・経済活動とを両立させ、日常生活の維持を目指していきたくと考えています。

引き続き、基本的な感染防止策を心がけましょう。

○特に換気を心がけましょう

- ・時間を決めて定期的に**2方向の窓やドアを開けて換気**を行いましょう
- ・サーキュレーター等は、開けた窓やドアに向けて一方向で作動させましょう
- ・換気扇がある場合、換気扇で排気し、反対側から外気を取り入れましょう
- ※・車に乗るときは「**外気導入モード**」で、**最大風量の半分以上**に
 - ・同乗者は離れた席に座り、それぞれの窓を5センチほどあけましょう
 - ・空気清浄機は補助的な役割と考え、**まずは換気を確実に**行いましょう

○発熱、倦怠感などがある場合は外出を控えましょう

○オミクロン株対応**ワクチンの早期接種**をお願いします
特に高齢者など重症化リスクの高い方は早めの接種をお願いします

○検査(自己検査・無料検査)を活用ましょう

○基本的な感染防止策を行いましょう

必要な場面でのマスク着用、換気、消毒、距離が3つの感染経路(エアロゾル、飛沫、接触)の遮断に有効です

◆「マスクの着用」の考え方については、国の基本的対処方針が変更され、3月13日より、個人の主体的な選択を尊重し、着用は基本的に、個人の判断に委ねることとされました。

<着用が効果的とされる場面>

- ・医療機関受診時、高齢者等重症化リスクが高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設等への訪問時
- ・通勤ラッシュ時など混雑した電車やバスへの乗車時 等

※事業者が、感染対策上または事業上の理由でマスク着用を求める場合があります。

○リスクの高い場所では、特に注意ましょう

ふだん一緒に生活していない人が集う環境で、マスクを外しての大声での会話や長時間同席など、3つの感染経路が全て高まるような状況では、特に注意ましょう